

「流域圏の物質輸送に関する実態評価の現状と課題」

～陸域から内湾（湖沼）までを俯瞰的に理解する

第2回：有機物・栄養塩動態を通して～

主催：土木学会水工学委員会環境水理部会／水環境学会ノンポイント汚染研究委員会／
土木学会海岸工学委員会／沿岸環境関連学会連絡協議会

趣旨：流域全体にわたる土砂・栄養塩・有機物等の動態を把握・管理することにより、土砂管理問題や水質汚濁を抱える河川・内湾・湖沼やその流域の環境再生の取り組みがなされています。このような背景のもと、これまでに得られた流域圏の物質輸送に関するエリア毎（陸域－河川・地下－内湾・湖沼）の実態評価の現状や今後の課題を把握することは重要といえます。本シンポジウムでは、三回にわたり、物質輸送の対象を「微細土砂」（第一回、昨年12月実施）、「栄養塩・有機物」（第二回、本シンポ）、「ゴミ」（第三回、次年度予定）と変えて、各々の物質輸送を流域圏全体にわたり俯瞰的に議論致します。

（詳しくは、<http://www.jsce.or.jp/committee/hydraulic/kankyosui/ri/default.html> をご参照ください。）

日時：2011年12月15日 13:30～18:00

場所：京都大学東京オフィス会議室（JR・京浜急行 品川駅より徒歩5分）

住所：東京都港区港南2-15-1 品川インターシティ A棟27階

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/about/access.htm>

参加費：1000円（定員100名）

参加申込・問合せ：山口大学大学院理工学研究科社会建設工学専攻

赤松良久 Email: yakamats@yamaguchi-u.ac.jp

注）参加申し込みは事前にE-mailでお願いします。

当日参加も可能ですが、定員となり次第申込受付を締切とさせていただきます。

【プログラム】

13:30～13:35 開会挨拶 二瓶泰雄（環境水理部会長・東京理科大学）

13:35～13:45 趣旨説明 赤松良久（山口大学）

PART1 陸域・河川・地下における有機物・栄養塩動態 司会：宮本仁志（神戸大学）

13:45～14:15 村上道夫（東京大学）
「酸イオンの同位体組成を用いた雨天時排水中の窒素起源の評価」

14:15～14:45 黒田久雄（茨城大学）
「農地系面源由来の窒素流出負荷対策についての今後の課題」

14:45～15:15 戸田祐嗣（名古屋大学）
「河川連続体仮説の水工学的記述と河川生態系での有機物・栄養塩動態」

15:15～15:45 山本浩一（山口大学）
「北海道における地下水・湧水水質の長期観測事例
～酸化状態による窒素形態の変化に注目して～」

15:45～16:00 休憩

PART2 沿岸・流域圏における有機物・栄養塩動態 司会：横山勝英（首都大学東京）

16:00～16:30 井上徹教（港湾空港技術研究所）
「水・堆積物界面における栄養塩循環」

16:30～17:00 鈴木昌弘（産業技術総合研究所）
「沿岸海洋生態系におけるリンの循環過程について」

17:00～17:30 中山忠暢（国立環境研究所）
「物質循環が生態系機能に及ぼす影響及び複雑性の評価」

PART3 総合討論

17:30～17:55 司会：赤松良久（山口大学）

17:55～18:00 閉会挨拶 重松孝昌（大阪市立大学）